

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	生命科学・創薬研究支援基盤事業			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定)年度	令和8年度	担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 金井 宏行
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率(65 歳以上人口割合)は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになる予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	第6期「科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26 日閣議決定)では、「医療分野の基礎から実用化まで一貫した研究開発を一体的に推進する」とされており、また、「健康・医療戦略」(令和2年3月27 日 閣議決定)では、「創薬デザイン技術や化合物ライブラリー、解析機器の共用など創薬研究開発に必要な支援基盤の構築に取り組む」とされていることから、今後も継続的・戦略的にライフサイエンスに関する研究支援基盤を整備・強化していくことが必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	創薬等に資する支援技術基盤(共用ファシリティ)を整備し、積極的な外部共用や技術的な支援等を大学等に行い、アカデミアにおける創薬研究をはじめとする幅広い分野のライフサイエンス研究を推進する。 支援体制は構造解析ユニット、発現・機能解析ユニット、インシリコ解析ユニット、ヒット化合物創出ユニット、モダリティ探索ユニット、薬効・安全性評価ユニットからなり、研究領域を跨ぐ横断的な連携の取組も行う。						
事業概要URL	https://www.binds.jp/about						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する本事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	5,344	3,820	3,702	3,634	4,449
		補正予算(B)	5,291	-	1,449	985	
		令和5年度第1次補正予算				985	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	3,185	-	1,449	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 3,185	-	▲ 1,449	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	7,450	7,005	3,702	6,068	4,449	
	執行額(G)		7,450	7,005	3,702		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		70%	183%	72%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			重要政策推進枠 815百万円		
	(目)	医療研究開発推進事業費補助金	3,634	4,449			
		その他					
	計(A)		3,634	4,449			

活動内容① (アクティビティ)		優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的探索研究や作用機序解明に向けた機能解析研究等を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究課題の支援	実施課題数	活動実績	件	59	59	56	56	－
				当初見込み	件	54	54	56	56	56
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	化合物提供件数は、創薬シーズを取得する試みを表したものであり、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		前年度実績と過去3年の伸び率平均からの算出した予測値以上の化合物提供件数	創薬支援の取組における化合物提供件数(累積) ※令和4年度が現行事業の開始年度のため、累積値をリセット	成果実績	件	791	917	269	－	
				目標値	件	874	883	107	－	
				達成度	%	90.5	103.9	251.4	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		医療分野研究開発推進計画								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	新たな創薬シーズ件数は、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		前年度以上の新たな創薬シーズ件数	創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数(年度)	成果実績	件	81	80	75	－	
				目標値	件	95	81	80	－	
				達成度	%	85.3	98.8	93.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		医療分野研究開発推進計画								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的探索研究や作用機序解明に向けた機能解析研究等を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究課題の支援	実施課題数	活動実績	件	59	59	56	56	－
				当初見込み	件	54	54	56	56	56
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	創薬支援の取組における放射光施設外部利用件数は、ヒット化合物の最適化を通じた創薬シーズの開発に繋がるものであり、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		前年度以上の放射光施設外部利用件数	創薬支援の取組における放射光施設外部利用件数(年度)	成果実績	件	73	142	510	－	
				目標値	件	120	73	142	－	
				達成度	%	60.8	194.5	359.2	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	構造解析関連の論文発表数は、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		前年度以上の構造解析関連の論文発表数	構造解析関連の論文発表数(年度)	成果実績	件	249	188	294	－	
				目標値	件	193	249	188	－	
				達成度	%	129	75.5	156.4	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容③ (アクティビティ)		優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的探索研究や作用機序解明に向けた機能解析研究等を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究課題の支援	実施課題数	活動実績	件	59	59	56	56	－
				当初見込み	件	54	54	56	56	56
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	創薬支援の取組における放射光施設外部利用件数は、ヒット化合物の最適化を通じた創薬シーズの開発に繋がるものであり、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		前年度以上の支援実施数	横断的な支援実施数(年度)	成果実績	件	433	477	1,430	－	
				目標値	件	556	433	477	－	
				達成度	%	77.9	110.2	299.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	論文発表数は、ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安と考えるため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		前年度以上の論文発表数	論文発表数(年度)	成果実績	件	638	475	841	－	
				目標値	件	494	638	475	－	
				達成度	%	129.1	74.5	177.1	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
3,702百万円

A. 国立研究開発法人
日本医療研究開発機構
3,702百万円

補助事業の管理等に係る事務費
①人件費・謝金 70百万円
②共通経費 21百万円
③旅費 3百万円
④不用額 10百万円

補助金等交付

B. 大学・研究機関・企業等
(全56機関)
国立研究開発法人理化学研究所等

創薬・医療技術等のライフサイエ
ンス研究に活用可能な最先端の計
測・分析装置等を企業や大学等に
対して広く共用するとともに、共同
利用の促進に取り組む。また、広
く研究者が最先端の創薬・医療技
術支援基盤を共用する取り組みを
支援するとともに、研究者等の利
便性及び研究の効率性の観点か
ら、これらの基盤が一体として活用
できる体制を整備し、共用のため
に必要な運営経費等を支援。

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	医療分野の研究開発	3,702	委託費	委託経費	586
			物品費	備品、消耗品等の購入費用	120
			その他	そのほか	57
			人件費・謝金		24
			一般管理費		20
			旅費		3
計		3,702	計		810

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

